



2階ダイニングから畳コーナーを望む。
部屋同士はオープンに繋がっているの、障子を開閉しながら多目的に使用できる。



中庭から外観を望む。
ペランダの機格子がとても印象的な外観。機格子は2階の部屋の目隠しを兼ねている。
中庭に面した部分の外壁に杉の小幅板を縦に張った。
中庭での一時を優しい雰囲気包んでくれる。



六尺の雪見障子が4枚並ぶ。
雪見障子は、目隠しと合せて光の調節機能がありとても役立っている。



親世帯の広間
2階床の梁組みをそのまま現した天井と、六尺の大きな建具が特徴的な広間。
お施主さんがあつらえた墨久杉の座卓の存在感が、この部屋の雰囲気を作っている。



親世帯のエントランス

エントランスに
大きな屋根を
設け、雨の日の
降りや、作業も
出来る土間空
間となっている。
天井は屋根の
垂木をそのまま
現し、構造的な
美しさも出
ている。

また、集いの家の窓は全て木製の
窓で出来上がっています。大きな引

窓も特徴的です。なるべく大きな窓
で光や風を取り入れ、雪見障子の開

け閉めを行いながら光の調節ができ

る工夫がされています。

また、集いの家の窓は全て木製の

窓で出来上がっています。大きな引

窓も特徴的です。なるべく大きな窓

で光や風を取り入れ、雪見障子の開

け閉めを行いながら光の調節ができ

る工夫がされています。

また、集いの家の窓は全て木製の

窓で出来上がっています。大きな引

窓も特徴的です。なるべく大きな窓

で光や風を取り入れ、雪見障子の開

け閉めを行いながら光の調節ができ

る工夫がされています。

また、集いの家の窓は全て木製の

窓で出来上がっています。大きな引

窓も特徴的です。なるべく大きな窓

で光や風を取り入れ、雪見障子の開

け閉めを行いながら光の調節ができ

る工夫がされています。

また、集いの家の窓は全て木製の

窓で出来上がっています。大きな引

窓も特徴的です。なるべく大きな窓

で光や風を取り入れ、雪見障子の開

け閉めを行いながら光の調節ができ

る工夫がされています。

また、集いの家の窓は全て木製の

窓で出来上がっています。大きな引

窓も特徴的です。なるべく大きな窓

で光や風を取り入れ、雪見障子の開

け閉めを行いながら光の調節ができ

る工夫がされています。

また、集いの家の窓は全て木製の

窓で出来上がっています。大きな引

窓も特徴的です。なるべく大きな窓

で光や風を取り入れ、雪見障子の開

け閉めを行いながら光の調節ができ

る工夫がされています。

また、集いの家の窓は全て木製の

窓で出来上がっています。大きな引

窓も特徴的です。なるべく大きな窓

で光や風を取り入れ、雪見障子の開

け閉めを行いながら光の調節ができ

る工夫がされています。

また、集いの家の窓は全て木製の

窓で出来上がっています。大きな引

窓も特徴的です。なるべく大きな窓

で光や風を取り入れ、雪見障子の開

け閉めを行いながら光の調節ができ

る工夫がされています。

また、集いの家の窓は全て木製の

窓で出来上がっています。大きな引

窓も特徴的です。なるべく大きな窓

で光や風を取り入れ、雪見障子の開

け閉めを行いながら光の調節ができ

る工夫がされています。

また、集いの家の窓は全て木製の

窓で出来上がっています。大きな引

窓も特徴的です。なるべく大きな窓

で光や風を取り入れ、雪見障子の開

け閉めを行いながら光の調節ができ

る工夫がされています。

また、集いの家の窓は全て木製の

窓で出来上がっています。大きな引

窓も特徴的です。なるべく大きな窓

で光や風を取り入れ、雪見障子の開

け閉めを行いながら光の調節ができ

る工夫がされています。

また、集いの家の窓は全て木製の

窓で出来上がっています。大きな引

窓も特徴的です。なるべく大きな窓

で光や風を取り入れ、雪見障子の開

け閉めを行いながら光の調節ができ

る工夫がされています。



2階ペランダのハンモック



完成現場報告

静岡市「集いの家」

笑いが集う住まい

文・写真 / コロボ 山崎健治

昨年の春から今年の春まで、ほぼ一年の工期を経て完成した『集いの家』は、ここに暮らす2世帯の家族を中心に、親戚や友人など、皆で集まり楽しく過ごす時間をイメージして計画しました。そんな、賑やかで笑いのある暮らしを提案すると共に、自然素材に包まれた空間の中で、部屋の配置や建具などを工夫し、光や風をコントロールしていきながら、全体を計画していきました。

敷地形状を生かした L型プラン。

私が初めて敷地を訪れたのは、今から2年前の秋でした。施主のGさんに場所を伺い、車で向ったのですが、到着してみると、その敷地は少々特殊な形状をしていました。前面の道路からは敷地は見えず、進入路を進んでみると、住宅地の中にぽっかり空いた大きな敷地がありました。そして、土地の周りをほぼ建物に囲まれているにも関わらず、その広さから開放感を感じ、逆に、囲まれている事から、安心感の有る敷地だと感じた事を覚えています。

敷地の形状で一番の問題になったのは駐車スペースです。2世帯と言う事で4台の駐車スペースを確保しなくてはなりません。また、旗竿形状がゆえに、車の出入りを考えると、敷地内での回転スペースもおのずと必要になります。

車の模型を移動しながら、図面上で何度も出入りのシミュレーションをし、最終的に家の対角に駐車スペースを配置した案となりました。駐車スペースには、それぞれのエントランスを兼ねた屋根を設け、雨の日の車の乗り降りや、ちょっとした作業の出来る土間空間としました。

敷地の方位や形状、エントランスの位置などから、自然と中庭を囲んだL型の平面構成となり、それぞれの部屋が全て中庭に面し、緑側のよ

うなスペースを中庭側に設けることで、ちょっとした回廊プランができ上がりました。

有機的な素材選び。

L型配置の間取りも大きな特徴ですが、その他『集いの家』にはたくさん工夫が詰まっています。外観写真からも見て解かるように、中庭に面した部分の全面に小幅の杉板を現しています。これは、中庭の土や水、緑や花々との相性を考え、中庭でのひと時をゆったりとした空間で過ごしてもらいたいと考えた為、無機質ではなく、有機的な素材を選びました。

外壁の杉板と合せて、大きな木製窓も特徴的です。なるべく大きな窓で光や風を取り入れ、雪見障子の開け閉めを行いながら光の調節ができる工夫がされています。

また、集いの家の窓は全て木製の窓で出来上がっています。大きな引



スタディ模型

打ち合わせの始めに制作した模型。車の出入りや回転スペースを考え、L型のプランに決定した。

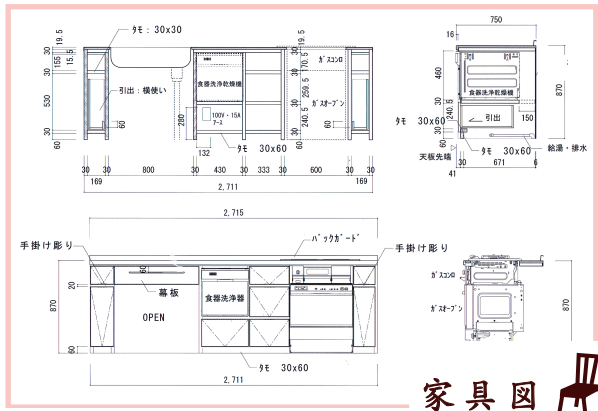
職人の団結力と底力。

今回建築をさせていただいた『集いの家』は、私にとっても、大工にとっても、挑戦の家だったと思います。普段建築させていただいている家に比べ、2倍以上の大きさという事や、木製窓や造作家具の各種の納まりなど頭や体をフル回転させて、無我夢中で取り組ませてもらいました。難しい納まりや工期などで悩んだ事もたびたび有りましたが、職人の団結力、底力に助けられた事を忘れられません。職人は無口で一匹狼の印象が強いと思いますが、実際はものづくりの大好きな人。当然、丈夫に綺麗に造りたいと思い、日々自分の腕を磨いています。そんな職人が一軒の家の建築で集まると、次の職人の事を考え準備を整えてくれたり、時には関係ない仕事でもお手伝いをしてくれます。また、休憩中の何気ない会話の中から仕事を探り、自分の役割をきちんと納めてくれます。職人ってすごい！頼もしいし、あたたかい！まさに日本の宝です。それぞれが自分の役割を果たし、その上でお互いの仕事を考えていく事は簡単ではありません。いろんな知識が必要で、経験も大切なのだと思います。私は実際に現場を叩く職人ではありませんが、設計屋という「職人」になりたいと強く感じました。



仕様内容

設計者	設備	外部仕上		構築法
	浴室	内部仕上	屋根	
山崎建設 有限会社	浴槽	天井	外部壁	ガルバリウム鋼板、長尺段書き ガルバリウム鋼板、角段書き 杉板張り、モルタル吹付け仕上げ ヒル木製張具、(ヒアパネ) 杉木実板張り、(ヒアパネ) 落とし込み、厚さ12mm ナラ柱目、エナメラル 青森ヒバ板張り+サリモタル貼
	浴槽/ANK	床板 床板 浴室 浴室	敷地面積 379.96㎡ 建築面積 184.18㎡ 延べ床面積 280.39㎡	
	キッチン・洗面・トイレ・シンナ			板倉構法 2階建
				家族7人 8人 延べ床面積 280.39㎡



若奥さんの使い勝手に合わせて考えたキッチン。
食洗機やガスオーブンなども組み込み、機能を充実させている。

家具图

また、造りつけ家具と聞くと「高い」と考える方も多いと思いますが、建材メーカーの家具ではなく、大工や建具屋さんに造ってもらうことで案内口コストな家具も出ま上がります。

では具体的に、どのような家具をどのように造る事ができるのか？集いの家の造作家具を見ながらご紹介して行きます。



書齋コーナー

若世帯の寝室の一角に本棚とカウンターを備えた書斎を造りました。2帖ほどのスペースですが、適度に光も入り、ゆっくりと集中できる場所になったのでは？



洗面台

両世帯とも同じサイズの洗面化粧台を造りましたが、それぞれの好みで天板を変えて造られています。若世帯は、タモの無垢板に陶器のボウルをはめ込んだカウンターとしました。お施主さんの選んだタオル掛けも特徴的です。



キッチン

若世帯のキッチンです。シンプルなキッチンですが、奥さんの使い勝手に合わせて少し高めサイズとしたり、天板の奥行きを 750 mm に広げて造りました。全て引き出しとし、ガスオープンや食器洗浄機も備え付けてあります。

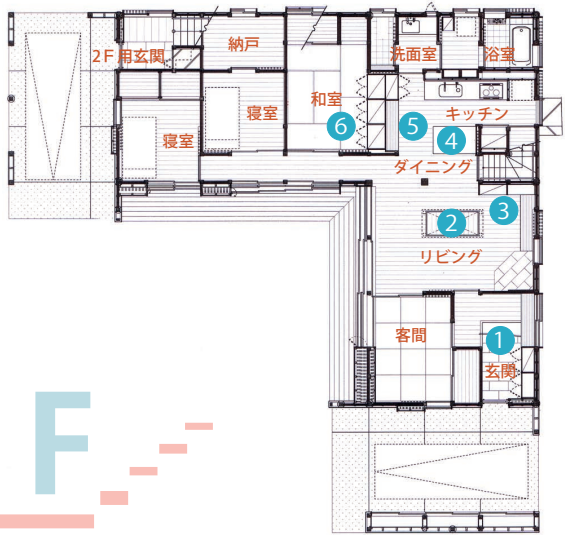


食器棚

若世帯の食器棚は上下に分けたカウンター式としました。色んな家事道具が置けますが、現在はスッキリとした飾り棚になっています。



「集いの家」こだわりの**造作家具**をご紹介します。



1F
親世帶



掘り座卓

これは G さんが新築に合せてあつらえた屋久杉の座卓です。大きさと厚みも十分で、とても存在感の有る一品です。この座卓に合わせて、掘り座卓形式の床を造りました。座卓を外して使う時の為に床板の蓋も造っております。



TVホート・本棚

親世帯、若世帯共に TV ボードを造りました。カウンター類はタモの無垢板で造り、TV と合せて本棚も造りました。1 階の本棚にはエアコンを組み込み、エアコン自体は見えないような工夫をしました。



造り付け
テーブル

ダイニングテーブルです。主な食事はゆっくりと居間の屈座卓でとりたいという要望から、大型のダイニングテーブルは置かず、忙しい朝や、ちょっとしたコーヒータイムに利用する為に造られたテーブルです。両面から利用できる引き出し収納や、新聞、雑誌を一時的に置く、マガジンラックも付けました。



食器棚

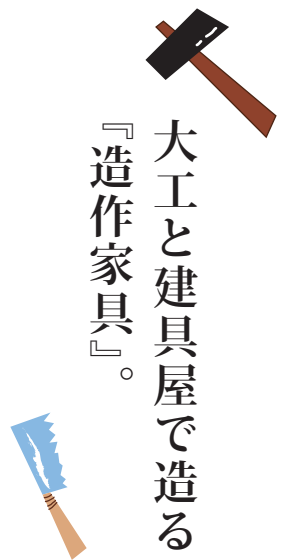
食器棚は、9 尺 (2.73m) の巾に合せて造られた収納で、レンジや電話を置くスペースも確保しました。この写真では解かりませんが、おばあちゃんの部屋の洋服収納と背中合わせになっていて、両方で 3 尺 (0.91m) の巾に合せて造りました。

※地震時に扉が開かないように、耐震ラッチも付いています。



洋服収納

おばあちゃんの部屋に造りつけられた洋服収納です。キッチンの食器棚の反対側に造られています。洋服掛けや引き出しなどをたくさん設け、着物も収納できるようにしました。6帖の部屋ですが、造りつけ家具としているため、6帖全てを部屋として使い、案外広く使えていると思います。



家具と聞くと、ダイニングセットやソファア、筆筒などを想像する方が多いと思いますが、建築の中で造られる家具の中には、玄関収納やキッチン、食器棚、洋服収納なども家具として揃らえています。

間取りの打ち合わせの中で、「収納をたくさん欲しい」と希望される方が多いと思いますが、収納とは単に押入れやクローゼットを造ると言った事の他、洋服収納の巾身や玄関収納の使い方などを、もっと詳しく考えていく必要があります。自分の所有している服やバックはどうやって収納するのか？また、玄関収納には、靴の他に傘やゴルフバック、屋外で使う道具なども入ったらいかなく思っている人も多いと思います。ですが、これらの収納家具はカタログから既製品を選ぶだけといった事がほとんどだと思います。ましてや、キッチンや洗面化粧台をから考えてつくるなどと言ったことは、ほとんど無いのではないですか。

確かに、これらの家具を細かく考え造り出していけば、その分の打ち合わせ時間やコストはかかってしましますが、室内の寸法や雰囲気などにピッタリとあつた家具が出来る上り、上手に収納出来る心地良く暮らすことが出来ると思います。